

中大規模木造建築データベース

～中大規模木造建築物等に用いる木質部材の供給、設計、施工に関する技術者等のデータベース～

中大規模木造建築データベース運営協議会

木質部材・企業・技術者等の情報シート

●関係団体等情報

関係団体情報	団体名称	公益社団法人日本木材加工技術協会
	所在地	東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル
	連絡先	03-3816-8081
	ホームページ	http://www.jwta.or.jp/
	団体紹介	<p>適正に管理された森林から生産される木材の活用が、地球環境の保全に大きく貢献します。公益社団法人日本木材加工技術協会は、環境負荷の少ない適正な木材加工・利用に関する学術の振興と技術の向上及び普及を図るために活動しています。</p> <p>研究発表などを通じて会員相互の研鑽、情報交換、親睦を図るため、年次大会を毎年秋に開催しています。開催地は北海道から九州まで、毎年地域を変えています。</p> <p>本部・支部・部会において、講習会、講演会、シンポジウム等を開催し、木材加工・利用技術及び木材産業の当面する重要課題等について、広範な分野にわたって活発に広報・普及を行っています。</p> <p>毎月、機関誌「木材工業」を発行し、現在巻を重ねて第77巻を刊行しています。わが国の歴史ある木材加工・利用技術に関する専門誌として高い評価を受けています。「日本の木材」、「世界の有用木材 300 種」等の権威ある図書の刊行を行っています。また、日本産 50 樹種の貴重な木材標本を頒布しています。</p> <p>わが国の木材工業の健全な発展に資するため、木材加工・利用の基礎技術である木材接着、木材乾燥、木材切削及び構造用集成材の製造に関し、これに関与する技術者の知識技能を審査して、その資格の認定を行っています。また、資格認定試験に備えて、各専門部門の研究者・技術者による基礎知識から専門技術までを網羅した講習会を開催しています。</p> <p>毎年、わが国の木材加工・利用技術の進歩発展に貢献した業績に対して、「木材加工技術賞」ならびに「市川賞」を授与しており、今や権威ある賞として斯界の認めるところとなっています。</p>

中大規模木造建築データベース

～中大規模木造建築物等に用いる木質部材の供給、設計、施工に関する技術者等のデータベース～

中大規模木造建築データベース運営協議会

関係資格情報	資格名称	木材接着士
	資格者の業務	「木材接着士」の資格は、JIS 及び JAS 認定工場などにおいて、木材及び木質材料相互あるいは他材料を接着して製品化する業務に従事する者に与えられます。木材接着士には、その技術と経験に基づいて、接着による製品化を安全かつ確実に行うことが求められ、工場における接着の確実性と接着製品の品質の安定確保に貢献することになります。
	資格の取得方法	毎年実施される「木材接着士資格検定試験」に合格しなければなりません。試験に先立っては、「木材接着講習会」が開催され、接着の基礎知識、接着剤の一般知識、木材、木質材料及び木製品に関する一般知識、木材接着技術など求められる知識について講義が行われます。
	受験資格	大学卒業後接着に関する1年以上の実務経験、短期大学卒業後接着に関する2年以上の実務経験、高等学校卒業後接着に関する3年以上の実務経験、もしくは接着に関する7年以上の実務経験を有する者。委員会において認められた者。
	問い合わせ先	03-3816-8081
関係資格情報	資格名称	木材乾燥士
	資格者の業務	「木材乾燥士」の資格は、木材及び木質原材料等を乾燥する業務又はこれと直接関連する業務に従事する者に与えられます。資格取得によって、JIS 並びに JAS 認定工場などにおいて行われる乾燥作業の適正を図り、木質製品の品質安定を確保しようというものです。
	資格の取得方法	隔年に実施される「木材乾燥士資格検定試験」に合格しなければなりません。試験に先立ち、「木材乾燥講習会」が開催され、木材、木質材料及び木製品の一般知識、乾燥の基礎知識、乾燥装置及び関連機器の知識、水分管理の基礎知識などについて講義が行われます。
	受験資格	大学卒業後乾燥に関する1年以上の実務経験、短期大学卒業後乾燥に関する2年以上の実務経験、高等学校卒業後乾燥に関する3年以上の実務経験、もしくは乾燥に関する7年以上の実務経験を有する者。委員会において認められた者。
	問い合わせ先	03-3816-8081

中大規模木造建築データベース

～中大規模木造建築物等に用いる木質部材の供給、設計、施工に関する技術者等のデータベース～

中大規模木造建築データベース運営協議会

関係資格情報	資格名称	木材切削士
	資格者の業務	木材切削は、木材および木質材料によるものづくりの基礎となる技術です。正しい知識と技術の習得は、製品の品質と歩留まりの向上、工具および機械の適正な管理、作業の合理化と安全にとって不可欠です。「木材切削士」の資格は、木材及び木質材料を切削加工する業務又はこれと関連する業務に従事する者に与えられます。この資格により、切削加工業務の適正をはかり、木質製品の品質の安定を確保しようというものです。
	資格の取得方法	隔年に実施される「木材切削士資格検定試験」に合格しなければなりません。試験に先立ち、「木材切削講習会」が開催され、木材・木質材料の基礎知識、木材切削の各論、プレカット加工、木材加工機械の安全と管理等について講義が行われます。
	受験資格	大学卒業後切削に関するあるいはこれに関連した1年以上の実務経験、短期大学卒業後切削に関するあるいはこれに関連した2年以上の実務経験、高等学校卒業後切削に関するあるいはこれに関連した3年以上の実務経験、もしくは切削に関するあるいはこれに関連した7年以上の実務経験を有する者。委員会において認められた者。
	問い合わせ先	03-3816-8081

中大規模木造建築データベース

～中大規模木造建築物等に用いる木質部材の供給、設計、施工に関する技術者等のデータベース～

中大規模木造建築データベース運営協議会

関係資格情報	資格名称	構造用集成材管理士
	資格者の業務	構造用大断面集成材の製品計画および製造を適正に実施するためには、集成材の設計・製造に関する技術的知識と建築設計についての一般知識が必要になります。「構造用集成材管理士」の資格は、日本農林規格で規定する構造用集成材の製品計画及び製造業務に従事することのできる者に与えられます。これにより、構造用集成材の製品計画及び製造業務の適正をはかり、集成材の品質の安定を確保しようというものです。
	資格の取得方法	「構造用集成材管理士資格検定試験」に合格しなければなりません。それに先立つ「構造用集成材の製品計画および製造に関する講習会」では、木材および接着の一般知識、建築設計の一般知識、集成材の設計に関する技術的知識、集成材の製造技術などについて講義が行われています。
	受験資格	大学卒業後集成材の製品計画及び製造に関する3年以上の実務経験、短期大学卒業集成材の製品計画及び製造に関する4年以上の実務経験、高等学校卒業後集成材の製品計画及び製造に関する5年以上の実務経験を有する者。木材接着士、木材乾燥士、木材切削士のいずれかの資格を有し、集成材の製品計画及び製造に関する3年以上の実務経験を有する者。委員会において認められた者。
	問い合わせ先	03-3816-8081